

# 再整備事業



福岡市中央卸売市場鮮魚市場は、消費者ニーズの多様化・物流環境の変化・情報化など新しい流通環境に対応できる機能を盛り込んだ市場づくりを目指しています。

## ■概要

計画地	福岡市中央区長浜3丁目
事業面積	約12.04ha
事業年度	平成7年度～18年度

■産地市場機能と消費地市場機能の両面を合わせ持つ西日本の拠点市場

■21世紀の流通環境に対応する個性と活力のある新しい市場

- 施設の立体化、配送・加工等の付加価値機能の導入による機能の充実
- 衛生・鮮度保持に配慮したシステムの充実
- 取引情報等の電子化・情報化

■市場PRプラザ（愛称：魚っちゃんぐプラザ）や展望プラザなどを設置した市民に親しまれる開かれた市場



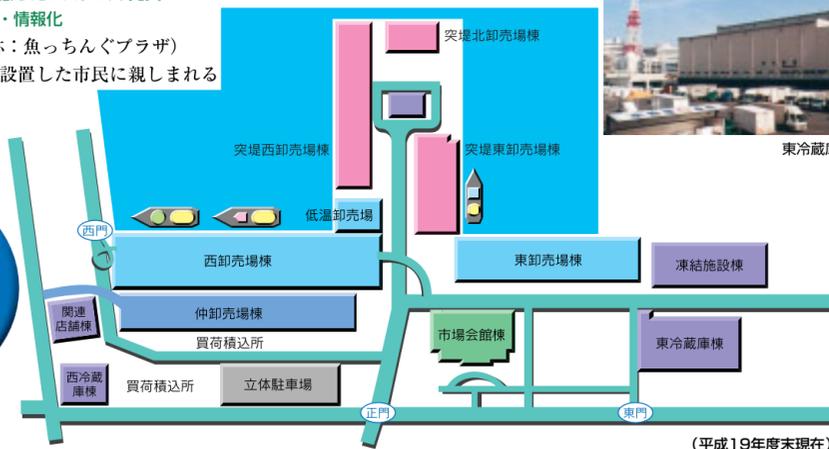
仲卸売場棟

西卸売場棟



東冷蔵棟

## 鮮魚市場再整備事業施設配置図



# FUKUOKA



福岡市博物館



[駐車場] 台数(約100台)に制限あります。公共交通機関をご利用ください。

鮮魚市場  
市場会館

福岡市中央卸売市場

〒810-0072福岡市中央区長浜3丁目11番3号  
☎(092) 711-6412(管理係)  
711-6414(業務係)

- 地下鉄赤坂駅から約0.5km
- JR博多駅から約3km
- 九州自動車道福岡I.C.から約10km
- 都心天神から1km
- 福岡空港から約5km

2010.10.改訂



さかなの美味しいまち・福岡の流通拠点

福岡市中央卸売市場  
**鮮魚市場**

# 市場会館



北の眺め

地上13階地下1階建の「市場会館」には、卸売会社をはじめとした市場関係者の事務所などが入居し、1,000人以上の人達が働いています。  
また、2階には魚について楽しく学べる市場PRプラザ(愛称:魚っちゃんぐプラザ)や「料理教室」、13階には天神の街並みや博多湾の眺望を楽しめる「展望プラザ」があり、市民がくつろげる場所となっています。



魚っちゃんぐプラザ

(魚っちゃんぐプラザ)  
開館時間  
午前10時～  
午後4時  
閉館日  
日曜・祝日および  
臨時休場日

料理教室

(料理教室)  
料理台7台



福岡は海に向かって開かれた街であり、古くから、中国や韓国をはじめとするアジア諸国との海外交流の窓口として発展してまいりました。かつて「那の津」や「袖の湊」として活躍してきた場所に、昭和30年開場した鮮魚市場は、博多漁港を擁した全国でも屈指の産地市場であり、かつ西日本有数の消費地市場として、玄界灘や日本海、東シナ海などの新鮮な魚介類を、福岡都市圏をはじめ全国各地に供給しています。



卸売業者  
2社

生産者から委託された品物を、市場内の卸売場でセリ・入札などの方法によって仲卸業者や売買参加者に販売します。その際、卸売業者の報酬となる委託手数料は、条例などによって決められています。卸売業者が市場で営業するためには、農林水産大臣の許可が必要です。



仲卸業者  
46社

卸売業者から買い受けた品物を市場内の自分の店舗で売買参加者や買出人に販売したり、他の消費地市場へ発送したりします。仲卸業者が市場で営業するためには、開設者の許可が必要です。



売買参加者  
約220社  
買出人  
約700社

小売業者、スーパー、加工業者などの買出人などは、一定の資格要件を満たし、開設者の承認を受ければ、売買参加者として、卸売業者からも直接、セリなどの方法によって品物を買うことができます。



関連事業者  
約50社

市場を利用する人のために、包丁や長靴、包装資材などを販売したり、飲食業などを営んだりしています。関連事業者が市場で営業するためには、開設者の許可が必要です。



開設者

市場に集まる生鮮水産物などが、適正な価格でいち早く消費者の手に届くよう、卸売市場法や条例などに基づき施設を維持管理し、市場内の取引が適正に行われるよう業務の指導監督を行います。

# 鮮魚市場 SYSTEM



全国各地より様々な魚を集荷

関連事業者

仲卸店舗

消費者へ新鮮な魚を提供